

令和3年度 事業報告

川崎市麻生区社会福祉協議会

(社会福祉法人川崎市社会福祉協議会麻生区支部)

目 次

	頁
重点事業	1
1 麻生区社会福祉協議会運営事業	2
2 調査・研究事業	3
3 研修事業	3
4 企画・広報事業	3
5 地域福祉活動事業	4
6 団体等助成事業	5
7 委員会活動事業	5
8 共同募金事業	6
9 福祉パル管理運営事業	7
10 生活福祉資金貸付事業	7
11 ボランティア活動振興事業	8
12 麻生区あんしんセンター事業	10
13 老人いこいの家運営等事業	11
14 公益事業	12
15 災害活動関連事業	12
16 団体事務	13
17 その他	13

川崎市麻生区社会福祉協議会

令和3年度 事業報告

◆重点事業◆

1 区民の福祉への理解を促進する福祉啓発の推進と社会福祉協議会の広報・啓発の強化

広報啓発委員会による各種広報紙の発行やホームページの運営、また、新型コロナウイルス感染防止策のもと、昨年は中止を余儀なくされた福祉啓発映画会を実施しました。広報紙の配布については、業者委託によるポスティングや区内新聞折り込みを活用した広報方法の工夫により区民への福祉情報の発信に努めました。

2 地区社会福祉協議会を中心とする住民主体の小地域福祉活動の支援及び地域包括ケアシステムの構築に向けた地域力向上の取り組み

地区社協の自主的・主体的な活動と運営の充実・発展のため、地区社協の役員等と共に考え、地区社協支援を行いました。「コロナ禍でもつながりを絶やさない」ために、在宅福祉サービス委員会によるオンライン研修や、子育て支援委員会による子育てグループ等交流会の開催等、小地域福祉活動における感染防止対策に関する学習や情報提供の機会づくりに努めました。

3 ボランティア活動振興センター事業（福祉教育を含む）の充実強化

今年度は、ボランティア活動者交流会を小地域エリアごとにオンラインと会場参加によるハイブリット形式で実施しました。コロナ禍での創意工夫について、ボランティア団体の活動発表や情報交換を通じて、互いにボランティア活動への熱意を共有し、様々な参加団体がつながる機会となりました。福祉教育推進では、感染症拡大防止の観点から体験学習用スライドやDVDを整備し、学校からの福祉教育相談にて活用しました。

4 賛助会員増強の取り組みと区社協財源の確保

賛助会費は、麻生区内の小地域福祉活動を支える貴重な資金であることから、新型コロナウイルス感染拡大防止もふまえ、町内会・自治会のご理解のもと、強化月間を変更し賛助会員の募集を行いました。令和4年度については、従来の募集時期にて実施することといたしました。

5 今後の麻生区社会福祉協議会のあり方についての検討

長引くコロナ禍においても、今年度は、感染防止策の徹底や実施方法の見直し・工夫により、区社協事業の実施に取り組んでまいりました。今後も区社協事業を継続するために、財源確保策とその合理的・効果的な活用方法、経営基盤強化について、次年度も引き続き住民の新しい生活様式をふまえた検討を進めてまいります。

事業報告の内容

麻生区社会福祉協議会 事業費【29,357千円】

【サービス区分事業活動支出23,834千円】

【共同募金配分金 5,523千円】

1 麻生区社会福祉協議会運営事業

(1) 常任委員会、正副会長会議、運営協議会（会員意見交換会）の開催

ア 常任委員会の開催 4回

(5月25日、6月1日、8月24日、2月17日)

イ 正副会長会議の開催 4回

(4月16日、5月17日、8月2日、2月1日)

ウ 運営協議会（会員意見交換会）の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止（書面報告）

(2) 種別会員会議の開催

令和3年5月31日をもって任期満了を迎える区社協の常任委員会・委員会の委員候補者選出に向けた種別会員会議については、コロナ禍により書面にて開催しました。

ア 第6種会員（公立・民間社会福祉施設） 33団体

イ 第9種会員（当事者団体） 30団体

ウ 第10種会員（ボランティア団体） 34団体

エ 第11種会員（福祉関係団体・機関） 12団体

(3) 賛助会員募集事業の実施

コロナ感染症の影響により、6月・7月を賛助会員募集の強化期間とし、町会・自治会等の協力を得て、区社協・地区社協の趣旨や活動に賛同し、支援をしていただける賛助会員を募集しました。賛助会費は、1口1,000円を基本とし、協力をいただきました。

令和3年度募集	賛助会員数	金額
実績合計	2,669名	5,661,865円
麻生東地区	1,345名	2,259,032円
柿生地区	1,324名	3,402,833円

(4) 寄託金

令和3年度一般寄附 365,191円（寄託品で決算上金銭換算したものを除く）

(5) 寄託品

令和3年度寄託品 車椅子 1台

(6) 各事業の効果的な連携（総合相談支援）

ボランティア相談、日常生活自立支援事業や生活福祉資金貸付事業等の相談の他、福祉にか

かわる様々な相談等、支援を必要とする方への総合的な相談支援を区社協の各部署や行政、相談機関と協力連携して対応しました。

2 調査・研究事業

(1) 第4期麻生区地域福祉活動計画の推進

新たに策定した「第4期麻生区地域福祉活動計画」の冊子を作成し、区民や関係機関に冊子を配布・周知しました。

3 研修事業

(1) 区社協常任委員研修の開催

開催日	場 所	内 容	参加者数
令和4年 2月25日	新百合21ビル 多目的ホール	高齢夫婦の日常を記録したドキュメンタリー映画「幸せな時間」の上映	常任委員参加 14名

(2) 区社協職員研修の実施

各職員の職制や担当業務に応じた市社協職員研修や外部研修等に参加しました。

4 企画・広報事業

(1) 第32回あさお福祉まつり事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しましたが、来年度に向けた「あさお福祉まつり」の広報活動として、代替で令和3年度地域情報広報事業を実施しました。

ア 参加団体活動紹介カード

毎年参加いただいている、麻生区内の福祉団体・ボランティア・福祉施設等に作成を依頼し63団体の協力のもと新百合ヶ丘駅周辺に展示しました。(場所：新百合21ギャラリー、麻生区役所ロビー、期間：11月12日～3月25日、回数：計7回)

また、展示に合わせて視覚障害者が「参加団体活動紹介カード」を視聴できるように朗読ボランティア団体に依頼し朗読CDを作成しました。

イ しんゆりフェスティバルマルシェの出展

具体的に福祉について区民の理解を深めること、地域福祉活動に携わる人の連携を図ることを目的にしんゆりフェスティバルマルシェに出展しました。

「あさお福祉まつり」の写真や麻生区福祉施設の作業所製品の展示、麻生区社会福祉協議会の取組であるボランティア相談や成年後見制度相談などを実施しました。

開催日 12月18日、19日

(2) 広報啓発委員会の開催

ア 広報啓発委員会 3回(6月22日、11月11日、1月18日)

イ 「親子福祉探検隊」の開催

コロナウイルス感染の影響により、安全の確保が難しい状況ため、開催を中止しました。

ウ 「福祉啓発映画会」の開催

開催日	場 所	内 容	参加者数
令和4年 2月25日	新百合21ビル 多目的ホール	高齢夫婦の日常を記録したドキュメンタリー映画「幸せな時間」の上映	140名

エ 広報紙「ほほえみ」の発行

コロナウイルスの影響により、年間2回の発行に変更し、配布については、77号は業者委託によるポスティング、78号は新聞各社の折り込みで配布しました。

オ こどもや若い世代への福祉啓発

ボランティア活動振興センターの福祉教育推進事業と連携し、コロナ禍で講師派遣が難しい中、こども新聞等、体験学習用スライドやDVDを用いて福祉啓発を行いました。

カ ホームページの管理運営

区社協ホームページにより、区民に向けて、福祉団体のボランティア募集情報、地域の福祉情報、社会福祉協議会の事業などについて、随時発信しました。

キ 区社協の認知度を上げるための広報啓発の推進

令和3年度地域情報広報事業（第32回あさお福祉まつりの中止に伴う代替事業）にて、区社協事業の紹介パネルや公式キャラクター「キューちゃん」を使用したバックスクリーンを作成し、区社協のPRを行いました。

(3) 地域のイベントへの参加協力

ア あさお区民まつり ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 認知症普及啓発イベント「RUN伴+」実行委員会への参加協力

5 地域福祉活動事業

(1) 小地域福祉活動の推進

小地域福祉活動の推進は、活動の主たる担い手である麻生東地区社協、柿生地区社協の運営を支援し、地区社協による主体的な活動が促進されるように働きかけを行いました。

(2) 関係団体・機関等との連携、各会議等に参加

区役所、福祉施設、地域包括支援センター及び教育機関等が主催する各委員会、会議に参加しました。

(3) 車椅子・福祉用具の貸出事業の実施

ア 車椅子の貸出（件数） 264回

イ 福祉器具の貸出（件数） 304件

(4) 移送サービス事業の実施

区内在住で、車椅子利用や歩行困難などにより移動が困難な方に対して、外出の機会や社会

参加を支援するため、福祉車両「キューちゃん号」による移送サービス事業を実施しました。

本事業は川崎市社会福祉協議会麻生区支部として道路運送法による福祉有償運送登録のうえ実施しています。

- ア 賛助会員数 12名
- イ 運転ボランティア登録数 8名
- ウ 利用件数 96件
- エ 運営委員会の開催 2回（8月26日書面開催、3月4日）
- オ 運転ボランティア定例会の開催（奇数月開催）6回
（5月21日、7月16日、9月17日、11月5日、1月14日、3月18日）

6 団体等助成事業

（1）地域福祉活動への助成

- 麻生東地区社協 1, 686, 322円
- 柿生地区社協 2, 626, 983円

（2）ボランティアグループ等活動助成事業

地域のボランティアグループや当事者団体の自主的な活動を支援するため、その活動に対して必要経費の一部として助成金を交付しました。

24団体（計654,000円）

（3）高齢者ふれあい活動支援事業への助成 11団体（1,685,000円）

（4）社会を明るくする運動への助成 50,000円

（5）ボランティア・当事者連絡会への助成 190,000円

7 委員会活動事業

（1）在宅福祉サービス事業

「みんなでささえあう、暮らしやすいまちづくり」の実現に向け、地域包括ケアシステムの構築を見据えて、地域が抱える生活課題に対して、地域住民が自ら取り組んでいけるよう、地域のつながりを深め、お互いに顔の見える関係を築き、ささえあい、助け合うことができる地域力の向上を目指して事業を実施しました。

- ア 在宅福祉サービス委員会の開催 5回
（7月2日、10月7日、12月14日、2月4日、3月1日）
- イ コロナ禍の地域福祉活動について講演会

(2月18日※オンラインと会場視聴で開催)

ウ 講演会に向けて委員会研修 4回

(11月9日、12月2日、8日、16日)

(2) 広報啓発事業 (再掲)

区民へ地域福祉の広報啓発を図り、福祉活動への積極的な参加を呼びかけました。

(3) 子育て支援事業

子育てにおける悩みや課題に対し、アドバイスを行う講座や講演会を開催するとともに、地域における子育て中の親・子を支援する体制づくりなどについて、子育て支援委員会で協議・検討を行いました。

ア 子育て支援委員会の開催

4回(7月6日、9月28日、11月24日、2月3日)

イ 子育て関連グループ交流会の開催

1回(10月13日)

ウ 「ペアレントトレーニング『見直してみよう～うちの子って…～』

2回(12月7日、1月11日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、回数を減らして実施

エ 「ペアレントトレーニング」参加者交流会

1回(9月17日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

オ 子育て支援講演会の開催

1回(2月15日)

カ あさお子育てフェスタへの参加

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

8 共同募金事業

(1) 神奈川県共同募金会川崎市麻生区支会の実施する共同募金運動への協力

(2) 共同募金の配分金事業の実施

ア 年末たすけあい配分事業

年末たすけあい運動により寄せられた募金の配分について、区社協に配分委員会を設置して、支援を必要とする高齢者世帯及び障害者世帯を対象に、申請に基づいて見舞金を配布しました。

配分世帯 377世帯 配分実績額 1,885,000円

イ あさおおもちゃとしょかん運営事業

障害を持つ子ども、持たない子ども、おもちゃを通じてともに遊び、豊かに育つことを目的に運営を行いました。

開館回数 46回

利用者数 448人

運営ボランティア数 延べ283人

次のウ～コは、財源の一部について共同募金配分金を受けて行いました。

ウ ボランティア・当事者連絡会への支援（活動育成費の交付）（再掲）

エ 助成事業（再掲）

小地域福祉活動の担い手である地区社協に対し、育成交付金として交付し、継続的な支援を行いました。（共同募金配分金から、麻生東地区社協へ 280,000円、柿生地区社協へ420,000円）

オ 区社協運営事業（再掲）

カ 在宅福祉サービス事業（再掲）

キ ボランティア活動振興事業（再掲）

ク 広報啓発事業（再掲）

ケ 子育て支援事業（再掲）

コ 移送サービス事業（再掲）

9 福祉パル管理運営事業

川崎市から受託した活動拠点「福祉パルあさお」の管理運営を行いました。

今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、コロナ禍における川崎市行政運営方針に基づいて開館しました。

※4月1日～9月30日まで、大・小研修室、フリースペースの利用定員を各定員の半数以下に制限し、夜間開館時間を短縮（20時まで）しました。

※平成23年度から、大研修室〈定員40人〉と小研修室〈定員15人〉の2つの研修室の貸出しを行っています。

(1) 研修室、フリースペースの貸出

ア 大研修室利用状況	452件（5,018人）	※前年度 243件（2,649人）
イ 小研修室利用状況	218件（1,021人）	※前年度 39件（113人）
ウ フリースペース利用状況	385件（1,366人）	※前年度 249件（1,024人）

(2) フリースペースのパネル展示・掲示スペース貸出（件数）

60件（5団体）

10 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯で経済的問題を抱える世帯に対し、各種資金の申込みを受付けるとともに、借受世帯への償還などにかかわる相談支援を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付の相談・申請対応を行いました。

(1) 相談件数 5,912件（通常貸付 2,903件、特例貸付 3,009件）

(2) 新規相談件数 50件 *通常貸付

(3) 貸付申請件数 13件 *通常貸付

(4) 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付 申請件数1,415件

(5) 事務管理終了

償還完了	総合【4】 教育【3】 緊急小口【3】 福祉資金【1】	11件
移管		0件

(6) 貸付調査委員会の実施

1回(9月10日※書面開催)

1.1 ボランティア活動振興事業

区民の福祉についての高揚と区内ボランティア活動の効果的な振興を図ることを目的とし、各種事業を実施しました。

(1) ボランティア活動振興センター運営委員会の開催

2回(7月8日、12月7日)

(2) 学生のための夏休み福祉・ボランティア体験学習「チャレボラ2021」

(市社協・各区社協等との共催事業)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) ボランティア養成講座「地域ボランティアデビュー2021」の開催

ア はじめてみよう！ボランティア2021(基礎講座)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ フォローアップ交流会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ウ ステップアップ講座

「オンラインdeつながろうカフェ」

4回(1月19日、2月2日、2月9日、2月16日)

①オンラインdeつながった～みんなの今～

②これからのボランティア活動にむけて～コロナに負けない活動！～

エ 麻生区ボランティアのつどい(交流会)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

オ ボランティア専門講座(田園調布学園大学主催)への協力

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

カ ボランティア体験

2回(7月28日、29日)

「チャレボラ2021」で企画した内容の1つで、ボランティア体験を実施。

①施設のお話(オンライン)、車いす体験

②オンラインじゃんけん大会

(4) ボランティアコーディネート委員会の開催

ボランティアコーディネート体制の充実のため、ボランティア活動振興センター運営委員会の中に、「ボランティアコーディネート委員会」を設置し委員会を開催しました。

3回（11月4日、1月17日、3月14日）

(5) ボランティア受け入れ担当者向け講座

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(6) ボランティア相談事業（来所・電話・相談コーナーを含む）

令和3年度 ボランティアの依頼状況・調整状況

- ① ボランティア依頼（ボランティアしてほしい） 28件
- ② ボランティア活動希望（ボランティアしたい） 38件

(7) ボランティア相談コーナーの開設、再開に向けた検討

毎月第1、第2、第3火曜日の午後1時から3時の間、月に3回、そのうち、第1火曜日は、麻生区役所ロビーにてボランティア相談コーナーを実施してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

(8) ボランティア受入状況などの現状把握するための取組

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(9) 広報紙「ぼらぼら」・情報紙「ぼらぼら広場」の発行

ア 広報紙「ぼらぼら」の発行

広報紙ほほえみの紙面を活用して発行しました。 2回（7月、2月）

イ 情報紙「ぼらぼら広場」の発行

新型コロナウイルス感染症拡大により福祉施設等のボランティア受入募集が少ないため、3月以降は不定期の発行としました。

号数	掲載内容
第103号（12月発行）	・ボランティア情報10件

(10) 福祉教育推進委員会の開催

2回（10月14日、3月4日）

(11) 福祉学習申込みに関する相談・紹介・調整

①申込件数 28件（延べ件数）

内訳：小学校21件 中学校7件

本申込を通じて話を聞いた方・体験した方 2,106人（延べ人数）

②内容 障害当事者等の講演・講習、車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験、講師派遣及び体験受入団体の調整、物品貸出 等

ウ 小学校・中学校・高校の先生との福祉教育についての懇談会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ 福祉教育推進委員会委員研修

1回（3月4日）

オ 福祉教育に関わる広報啓発

広報啓発委員会と連携し、コロナ禍で講師派遣が難しい中、こども新聞等、体験学習用スライドやDVDを用いて福祉啓発を行いました。

(12) 災害ボランティアについての取り組みの推進

ア 麻生区災害ボランティアに関する連携会議の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 麻生区総合防災訓練への参加

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

開催日 令和3年9月4日（土）

会場 金程小・中学校

(13) 相談窓口設置機関（麻生市民館・やまゆり・社協）の連携強化

平成28年度に麻生区役所（麻生市民館）、NPO法人あさお市民活動サポートセンター（やまゆり）と麻生区社会福祉協議会が協力して、区内で活動している市民活動団体の情報を一元化し立ち上げた麻生区市民活動団体検索サイトの広報、周知に協力しました。

また、掲載団体へ情報更新の依頼を行いました。

12 麻生区あんしんセンター事業

麻生区内に在住する判断能力が不十分な認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等の権利擁護を目的として、日常生活自立支援事業の実施及び令和3年7月からは成年後見制度の利用に向けた相談、支援を行いました。

(1) 日常生活自立支援事業の実施

日常生活自立支援事業においては、福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス及び書類等預かりサービスを実施しました。福祉サービスの利用料の支払い、生活費の出金など金銭の出し入れの手続き、公共料金や医療費等の支払い手続きを行いました。

・日常生活自立支援事業にかかわる相談

相談件数 1,498件（初回相談43件、継続相談1,455件）

・サービス契約者数（令和3年度3月末の継続利用者数）

福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス 21名

書類等預かりサービス 5名

(2) 成年後見制度の利用推進

令和3年度より川崎市社会福祉協議会川崎市あんしんセンターでは、川崎市から成年後見支

援センター事業を受託し、各区あんしんセンターにおいても成年後見制度利用促進のため、広報機能や相談機能を実施しました。

- ・成年後見制度の概要や申立て手続きに関わる相談

相談件数 219件（初回相談89件、継続相談130件）

（3）関係機関との連携及び連絡調整

行政機関や地域包括支援センター、地域相談支援センターが実施するカンファレンスや麻生区高齢者支援カンファレンス（年12回開催）に出席し、権利擁護支援にかかわる地域連携ネットワークの構築の推進に努めました。

1.3 老人いこいの家運営等事業

麻生区内7館の老人いこいの家の指定管理者として、地域の高齢者が健康で生きがいのある豊かな生活が送れるように、施設（各部屋）の利用をはじめ、教養講座や行事を開催し、高齢者の活動を支援しました。

また、各老人いこいの家の運営委員会と連携し、施設の適正な管理運営を行うとともに、地域福祉活動の拠点としての有効利用に努めました。

（1）指定管理事業

ア 老人いこいの家の運営委員会の開催

（※印：新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面報告等による開催）

- ①王禅寺老人いこいの家 2回（7月8日、1月19日）
- ②片平老人いこいの家 2回（6月8日、2月28日※）
- ③千代ヶ丘老人いこいの家 2回（5月18日、3月8日）
- ④白山老人いこいの家 2回（6月29日、1月31日）
- ⑤麻生老人いこいの家 3回（5月28日、9月24日※、1月28日）
- ⑥岡上老人いこいの家 3回（7月7日、12月4日※、3月25日※）
- ⑦百合丘老人いこいの家 4回

（6月21日、9月27日※、12月22日、3月3日）

イ 令和3年度利用状況 開所日数合計2,058日 利用人数合計49,948人

ウ 令和3年度入浴事業利用者の状況 利用者数合計2,450人（3館分）

※白山老人いこいの家については、ボイラー機器老朽化のため令和3年9月事業廃止

エ 教養の向上及びレクリエーションに関する事業

- ①教養講座 開催回数計598回 参加人数計4,622人
- ②レクリエーション 開催回数計12回 参加人数計663人

オ 多世代交流・地域交流に関する事業 開催回数計11回 参加人数計356人

カ 健康づくり・介護予防に関する事業

区役所や地域包括支援センターが実施する事業に協力した。

キ 高齢者の社会参加を促し、高齢者の活躍の場につながる取り組みを推進

ボランティア活動振興センター事業と連携し、高齢者がボランティアに関心を持っていた

だけるよう、関連リーフレットや活動紹介冊子等を各館に配架・設置した。

ク 消防訓練・避難訓練の実施 実施回数計7回 参加者数計208人

ケ 老人いこいの家管理人連絡会議・研修会の開催

①普通救命講習Ⅰ・救命処置実技（心肺蘇生とAED）：川崎市消防防災公社主催

5回（6月9日、8月2日、11月13日、1月23日、3月22日） 計32名

②いこいの家管理人連絡会議

3回（10月26日、10月27日、10月29日） 計20名

③いこいの家代替臨時職員研修 ※書面による開催 代替臨時職員22名

1回（2月15日）

1 4 公益事業

川崎市から受託し、市営・民営バスに乗車する「川崎市高齢者フリーパス」を交付及び販売することにより、高齢者の社会活動への参加を促進し、高齢者の福祉の増進を図りました。

交付枚数 計745枚

1 5 災害活動関連事業

平成29年度の川崎市総合防災訓練（麻生区開催）をきっかけに、行政、市・区社協をメンバーに麻生区災害ボランティアセンター設置運営について検討してまいりました。令和2年度からは、会議名称を「麻生区災害ボランティアに関する連携会議」と変更し、ボランティア活動振興センター内に置き、災害ボランティアセンターの設置・運営に限定することなく麻生区の災害ボランティアについて広く協議・検討しています。

（1）災害ボランティアについての取り組みの推進（再掲）

ア 麻生区災害ボランティアに関する連携会議の開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 麻生区総合防災訓練への参加 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

開催日 令和3年9月4日（土）

会 場 金程小・中学校

（2）災害対策・事業関連

事業継続計画を定期的に見直し、更新しました。

（3）災害発生時に必要な物品等の整備

アルファ米等、災害備蓄食品を購入しました。

1 6 団体事務

関係団体事務局として、団体運営・活動に支援協力しました。

(1) 神奈川県共同募金会川崎市麻生区支会への協力

(2) 麻生区民生委員児童委員協議会

(3) 関係団体の事務協力

(4) 麻生区賀詞交歓会の共催

令和4年麻生区賀詞交歓会 正副会長会議（11月8日開催）にて中止を決定。

1 7 その他

その他、地域福祉推進に必要な事業を実施しました。